



川東小だより

第4号

令和5年7月14日

新発田市立

川東小学校

プラタナスの木のように

校長 岡崎 功一

グラウンドにそびえ立つ4本のプラタナスの木は、川東小を象徴する木です。今は、夏の日差しを浴びて、青々と葉が茂り、力強さを感じます。これほどの大きなプラタナスの木が校地内にある学校もめずらしいのではと思います。

プラタナスの木の特徴は、**病気になりにくく耐性がある。干ばつに強く生命力がある。**成長が早い。と言われていました。先人が、なぜプラタナスの木をグラウンドに植えたのかが分かるような気がします。



さて、この1学期を振り返ると、**青々と茂るプラタナスの木のように**子どもたちの学びも充実していたように思います。新型コロナウイルスが、第5類に引き下げられたことも大きな要因でした。今までできなかった体験活動ができるようになりました。その活動を通して、子どもたちの学びも多くなりました。いくつか紹介します。

まず、生活科や総合的な学習での体験活動が充実してきました。地域の方に直接指導いただいたり、地域に出かけて貴重な体験活動をしたりする機会が増えました。ある学年では、その学びを通して、毎朝、学校の畑や鉢で育てている野菜に進んで水やりをするようになりました。最近「今日は、オクラの収穫できた。」「ミニトマトが6個とれた。」と、日々笑顔で私に声をかけてくれます。

また、水泳の授業を4年ぶりに行いました。4年生以下の児童は、学校での水泳授業は、今年が初めてとなります。職員も久しぶりの水泳授業ということで、準備を整えて始めました。プールサイドで子供たちの水泳授業の様子を見ていると、子どもたちから「楽しい!」「気持ちいい!」という声が聞かれ、本当に水泳を楽しんでいるということ伝わってきます。



それから、創立10周年記念事業の子どもたちの活動も意欲的です。先月の学校だよりでも紹介したとおり「ゆるきゃら」制作教室がありました。イラストレータの村上徹さんの指導で多くのアイデアが子どもたちから出ました。秋の文化祭でお披露目の予定です。加えて10周年記念ガーデンづくりで、ガーデニングクラブの子どもたちが活躍してくれました。花の苗選びからどこに何を植えるのかデザインしながら植えてくれました。これからの季節、きれいに花壇を飾ることでしよう。

最近、子どもたちの挨拶がよくなってきたと感じています。「学校が楽しい」と感じる事ができれば、自然にそのような姿になってくるのではないかと思います。これからも継続できるようにしていきたいと思っています。

もうすぐ夏休みが始まります。**プラタナスの木のように**子どもたちが「**病気やけがをしないで、健康で(生命力あふれ)成長できる夏休み**」になることを願っています。併せて保護者の皆様をお願いします。「家族との触れ合い」の時間を大切にしていきたいと思っています。自分は、掛け替えのない大切な存在であるということを感じる子どもは、自己肯定感もてます。自分に自信もてます。何事にも意欲もてます。夏休み後の2学期始業式に、子どもたちが、きらきらした表情で登校することを待っています。

最後になりますが、保護者の皆様、この1学期の川東小の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

しばたの心継承プロジェクト！チャンス・チャレンジ・チェンジ川東っ子！！

生活科・総合的な学習の時間の活動紹介(1・2・3年生)

【1年生】きれいにさいてね わたしのお花！大切なアサガオ！

1年生は、5月にアサガオの種をまき、水やりなどのお世話を欠かさず大切に育てています。子どもたちの愛情こもったお世話でアサガオは、すでに花を咲かせようとしているものも見られます。アサガオとのかかわりの中では、育てている植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって、世話の仕方を工夫したり、植物は自分たちと同じように生命をもっていることや、成長していることに気づき、愛情をもって世話をしたりする姿を期待しています。そして、アサガオを育てていく中で、葉が出る時、花が咲く時、花が咲き終わって種ができる時など、子どもたちは様々な場面で驚きや喜びを感じてほしいです。これから、アサガオから、どんな学びや活動につながっていくか楽しみです。



【2年生】たくさん実れ わたしの野菜！レッツチャレンジ野菜作り！

ピーマン、オクラ、ミニトマト・・・一人一人、自分が選んだ野菜を植え付けから行い、一人一鉢で育てています。水やり、間引き、肥料を与えるなど、野菜を収穫するためには継続的な栽培が必要です。また、色や大きさ、かたさ、長さ、太さなどに注目したり、お店の野菜と比べたりしながら、収穫できる状態かどうかを考えます。そして、日々の野菜との関わりをもつことを通して子供たちは、「野菜」から「自分だけの野菜」と親しみや愛情をもって働きかける姿が見られるようになります。実った野菜をどうやって食べるか考えるのも栽培の楽しみです。食育とも関連付けながら、学びがさらに深まっていくようにしていきます。



【3年生】3年生川東ファーム！おいしいよ！川東の農産物！

3年生は、地域コーディネーターでもあるいたやま純心村の井上さんから野菜作りについて教わり、学校の畑でナス、ピーマン、オクラ、カボチャの栽培を始めました。ナスについては、地域の特産である「二王子なす」を収穫したり、地域の食生活推進員の方々が作ってくれたナス料理を味わったりしました。(7/12の新潟日報で活動が紹介されました)また、地域のビレッジ岡田では、いちご農家の今井さんから、「越後姫」についてのお話を聞いたり、収穫体験をして実際にその美味しさを味わったりしました。子どもたちのワークシートには、「この美味しさは川東の誇りだ」「たくさんの人に川東の美味しい野菜やいちごのことを知ってもらいたい」というようなふり返りが書かれていました。体験→実感→思い→発信というプロセスの中で、地域と共に地域を学ぶ学習をこれからも展開していきます。

